

- 1 会議名 厚生・文教常任委員会協議会
- 2 日時 平成28年3月9日（水）
午前11時15分～午後2時27分
- 3 場所 第2・第3委員会室
- 4 出席議員 〈委員長〉塚本秋雄、〈副委員長〉榎谷規子
櫻井伸賢、鬼頭博和、梅村 均、黒川 武、伊藤隆信
- 5 欠席議員 なし
- 6 説明員 市民部長柴田義晴、健康福祉部長森山 稔
教育こども未来部長山田日出雄
環境保全課長西井上剛、同主幹兼清掃事務所長佐野 隆
長寿介護課長山北由美子、学校教育課長石川文子
同主幹兼学校給食センター長神山秀行、同主査今枝かづき
生涯学習課長片岡和浩、同主幹中野高歳
同主幹兼図書館長寺岡秀樹
子育て支援課長富 邦也、同指導保育士八木純子
同児童館長柴垣裕子、同主査佐藤さとみ
- 7 事務局出席者 議会事務局長尾関友康、同主査田島勝己
- 8 委員長あいさつ
- 9 報告事項
- (1) 岩倉市放課後子ども総合プラン基本方針（岩倉市子ども・子育て支援事業計画 別冊）について
子育て支援課長が資料をもとに説明
榎谷規子副委員長：現在、土曜日に開催されている放課後子ども教室の指導員は、パートとして採用されていると思う。今後、打ち合わせ会など連絡協議会まで持っていくとなると、子ども教室の指導員としての位置づけも重要になっていくと思うが、どのような採用になるのか。今までと変わっていくのか。
生涯学習課長：放課後子ども教室の指導員の採用は、生涯学習課でパート職員として採用して各小学校区で採用しています。すべての指導員を取りまとめるコーディネーターも採用しています。放課後児童クラブとの連携は、今後どのようにするか検討したいと思います。
質疑後、教育こども未来部長から、資料に関する補足説明をした。

(2) 第2次岩倉市子ども読書活動推進計画について

生涯学習課主幹（図書館長）が、資料をもとに説明した。

質疑なし

(3) 第4次岩倉市一般廃棄物処理計画推進計画（案）について

環境保全課主幹が、資料をもとに説明した。

黒川 武委員：24 ページの施策の基本的方向に記載してある「コース収集の民間委託化等効率的な収集が行えるようなシステムの整備に努めます。」について、どのような考え方なのか。併せて現在のごみ収集体制は、直営と民間委託で実施しているが、今後の推移をどのように考えているのか。

環境保全課主幹：現在、6 コースのうち4 コースを民間委託しております。

ごみの収集コースは、環境員の退職に併せて民間委託を実施し、直近では、平成24年度に1コースを委託し4コースが委託となっております。

次の委託に関しては、職員の人員配置の状況を見ながら、いつ委託するのか検討しています。

黒川 武委員：平成30年度の家系ごみ1人1日当たりの排出量は、440グラムにするということで、平成26年度は、476グラムであるからおよそ1割を減らすことである。この間も分別の方法をかなり徹底してきたことでもある。決め手の一つは雑がみである。雑がみをいかにリサイクルするのかが、ごみ減量の大きなポイントでと思うが、考え方はどのようなか。

環境保全課長：おっしゃるとおり、生ごみ等の水分の中から最後に雑がみが残るということで、課題は雑がみであると伝えてきたところであります。広報等で雑がみのリサイクルの特集などをしながら調査をしております。年に2回清掃事務所で、ごみの内容量調査をしていますが、リサイクルできるものの中で雑がみの割合が多くなっていると認識しております。先の本会議でも市長からの指示もありました。新年度のどこかで、今回の計画に載せましたエコファミリーに近い形で特定の家庭と密着しながら、雑がみについての特集記事ができればとの形で特にPRに図るよう指示も出たところでありますので、さらなるPRに努めたいと思います。

(休憩 午前11時50分から午後1時10分まで)

(4) 新学校給食センター給食調理及び配送等業務委託の業者選定結果について

学校教育課主幹が、資料をもとに説明した。

櫻井伸賢委員：次点者の本社所在地は、どこにあるのか。

学校教育課主幹：本社所在地は、優先交渉権者と同様に東京にあります。

櫻井伸賢委員：優先交渉権者は、給食事業を専業としているのか、食品卸売業から給食事業を行っているのか。

学校教育課主幹：主に実施しているのが、集団給食事業であります。学校給食のほか工場や病院の給食を実施しているようであります。次点者は、社員食堂等も実施しており、近辺では、石塚硝子を請け負っております。

黒川 武委員：優先交渉権者は、本社が東京で中部地方にも事業所があるようだが、近辺にあるのか。

学校教育課主幹：県内では、田原市、知多市、武豊町を受託しております。

知多市に愛知支店がありますが、本市の業務を受託した際には、名古屋市内に支店を設ける提案がありました。

質疑後、教育こども未来部長が、特別会計廃止の資料について説明した。

(5) 岩倉市教育振興基本計画策定の進捗状況について

学校教育課長が、資料をもとに説明した。

櫻井伸賢委員：アンケート調査の中にあるポートフォリオ分析をした項目の評価区分は、何段階か。

学校教育課長：評価は、「満足」、「やや満足」、「どちらとも言えない」、「やや不満」、「不満」、「わからない」という6段階の評価で実施しました。

(6) 岩倉市いじめ防止基本方針（案）について

学校教育課長が、資料をもとに説明した。

黒川 武委員：パブリックコメントは、いつから実施する予定なのか。

学校教育課長：来週から月末にかけて実施する予定です。

櫻井伸賢委員：この基本方針（素案）は、この後素案がなくなる形になるだけであり、条例化するのか、方針のままなのか、今後の成り行きについて、教えてほしい。

学校教育課長：基本方針で考えております。子ども条例もありますので、条例化する予定は、ありません。

梅村 均委員：5ページの岩倉市いじめ問題対策連絡協議会について、「家庭や地域と連携して」とあるが、ここの記述には家庭や地域が見当たらない感じがする。「等」と書いてあるが、どのような構成を考えている

のか。

学校教育課長：P T Aに入っていたりすることもありますが、細かいところは、設置する段階で詰めていきたいと思います。

(7) 曾野小学校校舎耐震について

学校教育課長から報告した。

黒川 武委員：耐震工事を行う際は、国庫補助対象になるのか。

学校教育課長：国庫補助の対象になっております。

黒川 武委員：平成 28 年度で補正予算を組んでほしいということか。

学校教育課長：平成 29 年度の前倒しの形になります。

黒川 武委員：工事は継続でもよいと思う。平成 28 年度で実施設計の補正、その後、工事の補正を組むと単年度でできないと思うから 29 年度にかけて行うのでないか。29 年度で工事を行うのは、国庫補助となるかどうか、不明確でないのか。

学校教育課長：どの時期でも補助対象になりますが、今回の案件の場合、29 年度工事として、事業計画を出し、28 年度末に国の補正予算が計上されたときに、前倒し事業として出してほしいとのこと。

(8) その他

①岩倉市高齢者地域見守り協力に関する協定書について

長寿介護課長から 3 月 1 日に愛知銀行と、3 月 24 日に三菱東京UFJ 銀行と協定書を締結する報告があった。

塚本秋雄委員長：協定書はホームページ等に掲載されているのか。

長寿介護課長：協定書（案）を別途配付します。

榊谷規子副委員長：協定書を金融機関と市内の郵便局、新聞販売店と協定を結んでいるが、新聞販売店の営業が変更されたようだが、引継はどのようにされているのか。

長寿介護課長：平成 22 年度に新聞店と協定を開始したことで協定が始まりました。今年の 2 月末で新聞店 1 カ所が営業を変えることをお聞きしえとります。新しい新聞店とは、再度話し合いをさせていただき、引き続き協力いただける形で進めていきたいと思っております。

②第 5 回いわくら市民健康マラソンでのけが人報告について

生涯学習課長から開会式参列お礼等の報告があり、参観状況については、1,435 人のうち 1,367 人の参加があり、95.3%の参加率で昨年は 75.9%の参加率であったと報告があった。

けがについては、3 件救急車で搬送され、内訳は骨折であり、競技中の

もの1件、帰りの自転車転倒が2件であり、参加者及び従事者の保険に加入しており、参加者の状況を確認し、保険の対象になると聞いているため、状況を見ながら保険適用していく予定をしております。

黒川 武委員：マラソンを見ていたが、何人かが押されて転倒したようだ。係員が押さないように声をかけているようだ。

生涯学習課長：スタート時は転倒する子どもがおりましたが、すり傷程度の状況でした。今回走行中に転倒して骨折した子は、スタート時でなく、競技中に一宮春日井線の高架を下りたところで、押されて転倒したことによるものであります。スタート時は注意して呼びかけておりますが、今後も注意しながら開催したいと思います。

③新学校給食センターの建設工事見学について

塚本秋雄委員長：3月28日（月）午前10時からの見学を予定としたい。

10 その他

なし